

せんしょう 宣証

地域支援ネット架け橋

2019 - 2020



2019年

宣証実践の活動支援と、災害地コミュニティ活動支援等の応援下さり心から感謝を申し上げます。

平成から令和に、時代の移り変わりに立ち合えたことに喜んでおります。令和の意味のごとく、平和と穏やかさが続くようにと心から私も願います。

しかし台風19号による被害が広範囲にわたり起こりました。更に政治的には近隣国によるきなくさい情報が流れてきます。このような時代だからこそ、平和ボケするのではなく、クリスチャンの使命とも言える時代の見張り人という役割を果たしたいと考えるのです。

そして時代の傍聴者となるのではなく、平和をつくり出す者となるように心掛けたいと願うのです。

2019年も変わらず応援とご支援いただき、心より感謝を申し上げます。この事で2つのことが進んでいます。

- 1、支援から宣証という伝道へ
- 2、宣証実践のためのクリスチャン間ネットワーク

1、支援から宣証という支援的伝道へ

真の復興は主イエスと出会うことから始まる。ここは外せません。大震災より9年目となり、今までコミュニティ形成のお手伝いや、安否を問う訪問なども続けていますが、いまだ真のイエスを伝えるまでにはいたっておりません。宗教としてのキリスト教の個人的な理解だけが先行し、礼式を思うと拒否

される。「私は仏教徒だから」となります。私からの視点で思うと、ほとんどの方が檀家ではない。ある人は、墓があので寺にあるからと言いますが檀家、信徒と呼ばれるほどではないと言われます。ではなぜかと聞いてみると「束縛される」「説教される」「後ろめたさが出てくる」「仏壇等を破棄しないといけないと聞いた」などです。実に真のイエスに出会う以前に「拒否する」内容が出来ているのです。つまりすでに理由が先行し、心の耳が閉ざされていることに気づきます。



2、宣証実践のためのクリスチャン間ネットワーク

私たちが現場で活動するために、今までのキリスト教のイメージを、真のイエスを知るための接し方、語り方などを学ぶべく集います。そこでは何よりも教会（共同体）に集うことが優先ではなく、私

たちが対象者と関わるなか、いかにイエスが身近な存在であるかを体験していただけるよう努める。



2020年も私たちは先の理念をもって活動し、実証できればと考えます。また同時に次世代にも受け継いでいただき、一人でも多くイエスに出会えるようにと考えるのです。

クリスマスおめでとう！

コストコで買った「ロティサリーチキン」この笑顔を見たかった。まことのクリスマスはここにあって、イエスを、キリストと知るチャンスがあります。



私の生涯のみことば。

——主は言われる——盛り上げよ。土を盛り上げて、道を整えよ。わたしの民の道から、つまずきを取り除け。



クリスマスリース作り

皆様からいただきました布でリース作りを開催しました。皆さまの応援に心から感謝を致します。



2020年 令和2年

皆さまにとって、
新しい年も実り多いものとなりますように。
イエスの御名によってお祈り申し上げます。

■銀行振込

【銀行名】七十七銀行 宮城町支店
【口座番号】普通 5497795
【名義】キリスト聖協団西仙台教会かけはし会計 中澤佳子

■郵便振替

【ゆうちょ銀行口座名義】地域支援ネット架け橋 (チイキシエンネットカケハシ)
【店名】二二九店 (ニニキュウ) (229)
【口座の記号・番号】02290-3-141031
【当座】0141031

■海外からのご支援

PayPal (ペイパル) を利用することでクレジットカードの使用が可能です。

【PayPal検索用アドレス】
yoshiko.n36@gmail.com

